

# 合併から10年 町の姿は

## 行財政運営は成功している



議員 矢野 昭三

ている。

補助機関の思考能力、実行能力、情報収集能力向上のため、研修などにより、黒潮町は変わりつつあると言って頂けるようになると思っ

**問** 合併時、これ以上ないというええ顔の皆さん、ええ町を作ろうという声が満ち溢れ、皆の顔が輝いていた。合併から10年、町の姿は。

**答** 大西町長

合併特例債はじめ多くの財源支援、情報基盤、庁舎移転事業、人件費削減3億4056万円。歳出決算平成18年82億4006万円。平成27年92億5670万円。組織のスリム化、経費削減。行政サービス拡充。行財政運営は成功し

### 防災対策

#### 住民の生命・財産守れ 県へ要望する

**問** 昨年の16号台風により河川に土砂が堆積、竹等が繁茂し被害が発生。対策を問う。

**答** 今西建設課長

自然環境の変化、集中豪雨等により浸水被害が発生している。過疎高齢化、担い手不足、未耕作地の増大、管理不足の森林等があり、河川に流



伊与木川にある寺井堰の現状

**問** 伊与木川右岸集落の浸水対策を問う。

**答** 今西建設課長

河川の適切な維持ができるよう管理者へ要望活動を強める。

**問** 伊与木川左岸集落の浸水対策に排水ポンプ設置を問う。

**答** 今西建設課長

従来、費用の面で計画を断念していた。機動性のある排水ポンプ等を検討する。



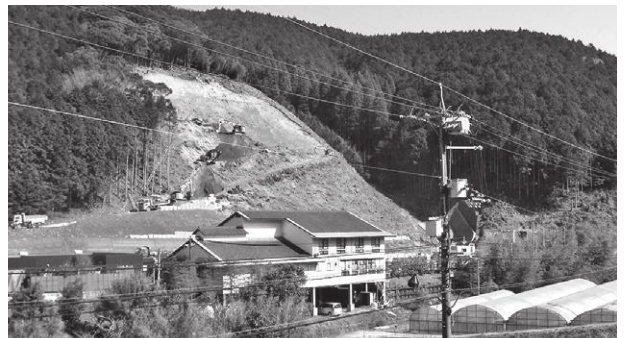
海水の逆流対策が急がれる水路口(佐賀漁港)

**問** 津波による犠牲者を一人も出さない町づくり、亡所から避難するため、高規格道路に一般道路を結ぶ出入り口の設置はできないか。

**答** 今西建設課長

県議会企画産業建設委員会、県幡多土木事務所へ要望を行ってきた。県道路課から佐賀北部地域へのハーフィントアーの設置の実現性等の検討を行うとの回答を頂いている。

町としても、今後も粘り強く要望活動を行うと共に緊急時や地震、災害等、輸送路の実現の可能性を探るため、県や関係機関と協議し、要望をしていく。



命の道との出入り口の工事中です(拳ノ川)

【その他の質問】  
※町営住宅について